

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人はまなす福祉会

大畠中央保育園

平成29年度 大畠中央保育園 事業計画

1. 保育理念

養護及び教育を一体的に行い、子どもの健やかな育ちを支援し、地域の人々との交流を図り、福祉の増進を図る。

2. 保育指針

- (1) 子どもの個性を大切にし、安心して過ごせる保育環境を整備する。
- (2) 地域の人々と関わる中で集団行動のマナーを培う。
- (3) 一人ひとりの保護者の思いを受け止め支援する。
- (4) 発達に応じた活動ができるよう健康な心身の育成を図る。
- (5) 大人や、子どもの関わりの中で信頼関係をつくる。
- (6) 人の話を聞いたり、自分の思いを伝える中で考える力を育てる。

3. 保育目標

- (1) がんばる子
- (2) なかよくする子
- (3) いっぱい遊ぶ子

4. 地域環境（本園の特徴）

近くに、むつ市大畠庁舎・大畠小学校・中央公民館・中島児童館の公共施設が多数あり、街の中心位置し、生活の利便性の高い場所にあり、草・木・花等を鑑賞しながら、児童を散歩には最適な環境である。

保育内容は、小学校とのつながりを考えた体操・音楽・ゲーム感覚で文字や数字を学ばせるような「好奇心の芽」を育てる学習などを積極的に実施し、「知育」「德育」「体育」を基本としたメリハリのある保育活動を取り入れていきたい。また、子ども赤十字活動及び楽器演奏などで地域に対するボランティア活動を行い、児童の心の成長も高めていきたい。健康面では栄養士による「食生活のあり方」などの実践講座や保育園の畑での野菜の栽培などを通して家庭と連携を図りながら「食育について」の推進を図っていきたい。

5. 事業者概要

施設名	大畠中央保育園	開設年月日	平成27年4月1日		
代表者氏名	理事長 池田由美子	改築年月日	平成14年4月1日		
設置主体	社会福祉法人はまなす福祉会	定員	90人	利用人数	69人
所在地	〒039-4401 青森県むつ市大畠町中島4-6				
電話番号	0175-34-5100				
メールアドレス	hamanoko@aioros.ocn.ne.jp				

6. 基本事業

○施設の主な行事	○特別保育事業
<p>春：入園式・遠足・交通安全マスコット配布 交通安全教室</p> <p>夏：夕涼み会・ねぶた運行 大畠ふるさとまつり参加・お化け屋敷</p> <p>秋：遠足・運動会・商工会まつり参加、 おとなり保育、ボランティア受入（大畠中）、 ふれあい体験、インターナンシップ（大畠中・大 湊高）、イチゴ狩り</p> <p>冬：お遊戯会・もちつき会・テーブルマナー クリスマス会・お店屋さんごっこ・そり遊び 雪上運動会・豆まき集会・体操発表会・卒園式</p>	<p>子育て支援 ぽかぽかルーム 家庭保育児対象 月～金曜日（10：00～15：00）</p> <p>一時保育 一時預かり保育 8：00～16：00 一日 2,100 円 (給食・おやつがでます)</p>

※父母の会役員会にて行事内容の検討

○施設概要（居室・外部）

保育室（5） ほふく室（1） 遊戯室（1） トイレ（5） 特別支援室（1） 調理室（1）
静養室（1） 用具室（2） ボイラー室（1） ベランダ（2） ねぶた小屋（1） 外小屋（2）

○職員配置・嘱託医

職種	人數	職種	人數
園長	1	栄養士	1
副園長	1	調理士	2
主任保育士	1	用務員	1
保育士	10	運転手	1
子育て支援員	3	内科医（大畠診療所）	1
療育支援員	1	歯科医（上条歯科）	1
准看護師	1		

平成29年度 行事一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 土 入園式・懇親会	月 マーチング教室	木 金	土 水	火 金	水 金	土 金	日 1	水 1	木 2	金 月	木 月	木
2 日 火	水 金	木 月	火 日	水 日	木 日	火 2	木 2	火 3	木 3	火 4	木 4	木
3 月 水	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 4	火 4	木 5	火 5	木 5	金 金
4 火 木	金 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 5	火 5	木 6	火 6	木 6	土 土
5 水 木	土 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 6	火 6	木 7	火 7	木 7	日 日
6 木 木	日 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 7	火 7	木 8	火 8	木 8	木 8	月 月
7 金 金	月 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 8	水 8	木 9	火 9	水 9	木 9	火 火
8 土 土	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 9	火 9	木 10	火 10	水 10	水 水
9 日 火	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 10	火 10	木 11	火 11	水 11	木 木
10 月 水	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 11	火 11	木 12	火 12	木 12	日 金
11 火 父の日 懇親会	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 13	火 13	木 14	火 14	水 14	火 火
12 水 木	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 14	火 14	木 15	火 15	水 15	木 木
13 木 運動会(火曜)	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 15	火 15	木 16	火 16	水 16	木 16	火 火
14 金 日	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 17	火 17	木 18	火 18	水 18	木 木
15 土 木	月 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	木 18	火 18	木 19	火 19	水 19	木 木
16 日 火	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 19	水 19	木 20	火 20	水 20	木 20	火 火
17 月 開学式	水 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 20	水 20	木 21	火 21	水 21	木 21	金 金
18 火 木	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 21	火 21	木 22	火 22	水 22	木 木
19 水 入学式(火曜)	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 22	水 22	木 23	火 23	水 23	木 23	火 火
20 木 土	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 23	火 23	木 24	火 24	水 24	木 木
21 金 日	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 24	火 24	木 25	火 25	水 25	木 木
22 土 木	月 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 25	火 25	木 26	火 26	水 26	木 木
23 日 火	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	木 26	火 26	木 27	火 27	水 27	木 木
24 月 水	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 27	火 27	木 28	火 28	水 28	木 木
25 火 木	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	木 28	火 28	木 29	火 29	水 29	木 木
26 水 木	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 29	火 29	木 30	火 30	水 30	木 木
27 木 木	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	木 30	火 30	木 31	火 31	水 31	木 木
28 金 木	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 31	火 31	木 31	火 31	水 31	木 木
29 土 木	金 月	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	木 31	火 31	木 31	火 31	水 31	木 木
30 日 火	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 31	火 31	木 31	火 31	水 31	木 木
31 水	木 月	火 月	水 月	木 月	火 月	水 月	木 31	火 31	木 31	火 31	水 31	木 木

平成29年度行事結果報告及び反省

実施日	行 事 名	評 働・反 省 (感想)
4月1日	入園式・進級式	新入園児6人を迎えての式であったが、例年より静かな雰囲気で式を終えることができた。保護者も、園の経営について理解をしていたので、全体的にスムーズに終えることができた。式終了後に今年度の経営方針等の説明や一年間の行事等の説明、日常の保育活動の説明をした。副園長から「ことば・かず遊びや文字・数字おけいこ」などの取り組みの必要性について説明した。保護者は、幼児教育について関心があったのか、真剣に聞いていた。
5月12日	交通安全マスコット配布	交通安全母の会の役員(保護者)のお手伝いをいただきながら園児が、通行する車の運転手に交通安全祈願マスコットを配布した。配布後に大畠駐在所長より交通安全について講話ををしていただいた。園児にとっても交通安全について考えることができる機会であった。また、ミニパトカーの見学をした時は楽しそうな雰囲気であった。
5月18日	春の遠足	0、1歳児は保育園周辺の散策をし、2歳児は大畠中央公園で遊戯に乗ったりしながら楽しい時間を過ごした。また、3歳以上児は下北自然の家で野山の散策とアステチック遊びを楽しんだ。自然の家の職員が要所要所につきながら安全面を考えながら対応してくれたので非常に助かった。また、保護者の手作り弁当を美味しそうに食べていたのが印象的であった。
6月6日	交通安全教室	交通安全マスコット配布時に大畠駐在所長より交通安全についての講話をしてもらい、道路の横断や道路で遊んではいけないこと等について指導する機会となった。
6月16～17日	保育参観	今年度の保育課程編成のための保護者からの要望から「日常の保育活動を参観したい」ということがあったので、16日(金)も保育参観として実施した。16日は一部保護者だけであったので次年度は再検討してみたいと思った。17日は土曜日ということもあり、多数の保護者の参加もあり、「保育所型認定子ども園への移行」について説明ができ、良かった。保護者からは、日常の保育活動が見られ、子ども達の集中力の高さには驚いたという意見が多くかった。保育活動を見られるということは資質の向上を考えると職員にとっても日頃の保育について見直す機会となった。
7月15日	ねぶた運行 夕涼み会	昨年度の反省で「ねぶたの運行コースが長い」という指摘を受けたので、今年は運行コースを短縮し実施した。その結果、暑さの中での運行であったが、運行時間の短縮があつたので保護者も喜んでいた。ただ、流し踊りが道路片側だけの使用であったので、広い場所での踊りができるものかという意見もあったので次年度は検討したいと思う。夕涼み会は、園児にとっても家族と一緒に参加であったので、買い物をしたり花火をみたりと楽しい時間であった。

8月 15日	大畠ふるさと祭り	4, 5歳児が踊りでイベントに参加した。園児の踊りなどを見ていた保護者や地域の人々の和やかな雰囲気から地域の活性化にも繋がると実感できた。園では行事の合間を縫って練習し多少の負担はあるが、子ども達にも素晴らしい経験であった。
8月 24日	お化け屋敷	昨年同様、職員が工夫し「お化けルーム」を準備した。昨年度まで、お化けが園児を脅すようなことが多かったため、恐怖のあまり泣き叫んでいた。そのため、今年は恐怖感を与えないように配慮することを確認したが、やはり泣く子が多かった。お化け役になった保育士の工夫も必要である。
9月 2日	運動会	綿密な計画が作成され、共通理解の下で取り組んだ集合整列は、練習時からレベルが高く日頃の取り組みの成果が見られた。見ていた保護者も自分の子を見ながら涙することが多く、感謝の言葉をいただき職員一同充実感を得ることができた。オープニングの4, 5歳児のマーチングは年々レベルが高くなり、指導した職員の意識の高さにつながる。
10月 6日	秋の遠足	今年も未満児も以上児も一緒に「早掛け公園」への遠足であった。未満児は早めに帰り、園で昼食をとった。以上児は遊具で遊んだり栗拾いなどをし楽しい遠足であった。保護者の手作りの弁当(キャラ弁)に喜んでいた。
10月 14日	幼児音体フェスティバル	今年は年長児が10人と昨年の半数ということだったので、演技・演奏を工夫しながら取り組んでいた。他の園の保護者も含めてたくさんの人の前で演技・演奏であったが、4歳児も含めて内容的にも素晴らしいものであった。実質上4月からの取り組みの様子をみていると保育士と子ども達、子ども達同士の好ましい人間関係が演技・演奏を支えているよう気がした。
10月 21日	大畠商工会祭り	大畠町民体育館で4, 5歳児の踊りと体操を中心とした内容であった。多数の保護者や地域の人々から日頃の本園の保育活動が評価されたとは思う。
10月 26日	お店屋さんごっこ	今年も職員の指導の下で以上児が売る品を作り、子ども達が仮の紙幣を使用しながら買い物をした。園児にとってはお金の大切さ(貨幣価値)を知る非常に良い機会であった。今後も大切にしていきたい行事である。ただ、売る品物を作ったり、仮の紙幣を作ったりと保育士の負担が多かつたのが気になる。
10月 28～29日	お泊まり保育	今年も「海の子保育園」との合同保育で実施した。日頃他の園と接する事が少ないので、子ども達は楽しみにしていた行事である。9月 29日に合同保育を実施したので、初日から子ども達同士での交流を図ることができたので効果的だった。貴重な経験になった。
10月 31日 11月 2日	ボランティア受入、他	大畠中学校 2学年(1, 2組)が保育活動を通して本園児との触れ合いを体験した。中学校にとって「性に関する学習」の一環である。園児を抱っこしたり、おんぶしたり、

		食事の介助をした。今年は中学側の計画的な事前の取り組み(指導)があったので、中学生の意識も高く積極的な関わりが見られた。中学生の感想は素晴らしい体験ができたというものもあった。
11月11日	保育参観	今年は保護者からの要望も取り入れ実施したので、日程的にも無理はなく保護者にとって日常の子供の様子を見れたのではないかと思う。親子給食では、昨年同様、準備・会食と流れもスムーズであったので、保護者にも評判が良かった。また、親子で楽しそうに食べていた。
12月2日	発表会（お遊戯会）	今年は感染症にも影響を受けることがなく予定通り実施できた。保護者の見方もマナーが良く、行事を通して保護者の心遣いがあり、本園に対しての理解が高くなってきているのが感じられる。祖父母の方に、イスを準備しゆっくりと見て欲しかったという反省があったので次年度は配慮したい。
12月14日	餅つき会	従来の臼と杵を使用すると衛生的に問題があるということで、ついた餅は子ども達に食べさせないようした。また、本園の杵が壊れてしまったため、子ども達に本来の餅つきを見せるためにも修理(準備)したい。
12月18日	テーブルマナー	虹組(11名)がグランドホテルで洋食を食べながらテーブルマナーについて学んだ。会食の会場がホテルの最上階であったためにむつ市内の中心を眺めながら食事した。子ども達にとっては想い出多いものになったと思う。子ども達のにこやかな表情が印象的だった。
12月22日	クリスマス会	地元の商工会職員がサンタさんになり一人ひとりにクリスマスプレゼントをあげたので、子ども達は非常に喜んでいた。その後の踊りやゲームに楽しそうに参加していた。
1月23日	そり遊び	悪天候（雪不足と強風）のため中止となった。
1月25日	雪上運動会	インフルエンザと悪天候（低温、強風）のため中止となった。
2月2日	豆まきの集い	地元の商工会職員が鬼の着ぐるみで参加してくれた。園児が恐怖感を持たないように配慮したのか若干物足りない所もあったが、子ども達にとっては楽しい一時であった。また、豆まきの由来についての説明もだったので、園児にとっては目的意識をもって参加させることができた。
2月17日	体操発表会	インフルエンザの蔓延が心配されたが、当日は影響もな予定通り実施することができた。日頃からの取り組みがあったので、昨年度よりもレベルも高く園児の態度も非常に良かった。綿密な計画を共通理解しながらリハーサルを3回実施し当日を迎えたので、職員一丸となっての行事であった。ただ、発表が年齢に相応しいのかどうかという課題もあったので、次年度は修正しながら日頃の体操に取り組んでいきたい。

2月 22 日	ひな祭りの集い	誕生会も含めて実施した。和やかな雰囲気だった。全員でひな祭りの歌やゲームを通して園全体の一体感を味わうことができた。その後の会食も調理員の献立などの工夫もあって、楽しい会話をしながら 食べていた。
3月 3 日	卒園式	卒園児 11 名。卒園証書授与、お別れの言葉、歌など整然と行われた。この園での生活は、子ども達にとっては小学校へ入学するための基礎基本を身につけることができたと思う。涙しながら 我が子の姿をみていた保護者からも感謝の言葉をたくさん 頂き全職員で喜ぶことができた。3 月上旬に行う事は、その後の数週間で小学校への準備期間として考えると適切である。
3月 23 日	お別れ会	卒園児との最後の行事であったが、幼児からの出し物や職員からのバルーン体操などの出し物があつたりと楽しい雰囲気だった。また、会食では調理員の献立の工夫もあり、にこやかな雰囲気で終えることができた。
年 中 行 事	お誕生会	月一回の会であったが、園児にとっては、思い出多い行事である。毎回、プレゼントを用意し、ゲームをしたりと楽しい時間となる。どの行事でも同様であるが、園児一人ひとりの心の成長になっていると思う。また、職員からの人形劇などの発表もあり、担当職員の工夫が見られた。
	避難訓練	全職員が常に危機意識を持たせる必要であるため、計画の段階で共通理解を図っている。終了後に評価反省の時間を設け、課題を明確にし次回に活かした結果、園児の行動も迅速になり、職員も危機意識が向上している。
	健康診断	<p>◎第一回内科検診：6月 14 日（検診園児数 67 人） 再検診：6月 29 日（〃 1 人）</p> <p>第二回内科検診：10月 25 日（〃 73 人） 再検診：11月 8 日（〃 2 人）</p> <p>入所時検診：〃 （〃 2 人） 入所時検診：1月 17 日（〃 1 人） 入所時検診：2月 28 日（〃 1 人）</p> <p>◎第一回歯科検診：6月 29 日（検診園児数 66 人） 再検診：7月 14 日（〃 1 名） 入所時検診：〃 （〃 2 名）</p> <p>第二回歯科検診：10月 17 日（検診園児数 73 人） 再検診：11月 2 日（〃 2 人） 入所時検診：〃 （〃 2 人） 入所時検診：1月 17 日（〃 1 人） 入所時検診：2月 28 日（〃 1 人）</p>
	身体測定	月一回実施（児童票、連絡帳に記入）
	食育活動	給食委員会（毎月）を実施し各クラスの給食の状況や献立への要望等について話し合った。 今年も、各家庭に「献立表」を配布し、食育に関する内容や園での野菜作りの様子（ジュガイモ、トウモロコシ、大根、ミニトマト、サツマイモ、その他を園の畑に植えた等の情報）等を載せた。また収穫した野菜を給食の食材にしたり、種植

えから収穫までの取り組みの様子について掲示する等の工夫を図った。



)

平成 29 年度職員研修計画

大畠中央保育園

1. 目的

平成 30 年 4 月 1 日から適用される保育所保育指針総則には、「保育所における保育士は、保育所の役割及び機能が發揮されるように、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保育とともに、子どもの保護者に対する保育に関する指導を行うものであり、その職務を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない。」と規定されている。保育所（保育園）に求められている質の高い保育・多様な保育ニーズへの対応・子育て支援サービスに、職員の自己学習や保育活動での経験及び研修を通して深められた知識や技術並びに人間性が実践として活かされるように常に自己研鑽に努めることが必要である。給食関係者、用務員も含め資質向上のために職員研修を定期的に実施する。

2. 研修項目

(1) 園内研修

<目的> 職員間のコミュニケーションを活発にし、知識・情報を共有化する。

- <内容>
- ① 研修内容のフィードバックを行う。
 - ② 文字遊び、数字遊び・おけいこや体操、マーチング、その他の日常の園児の様子や保護者への対応について、情報を共有化し指導のあり方などについて共通理解を図る場とする。
 - ③ 各種マニュアルや全職員共通理解資料等を熟読する。
 - ④ 園外研修などの報告の場とする。
 - ⑤ 実技研修（体操、マーチング）を実施する。
 - ⑥ 保育所保育指針についての理解

(2) 園外研修

<目的> 全国保育連合会、青森県保育連合会の主催やむつ支部主催の研修会等へ参加することにより保育士としてのより高い知識や経験、技術を身につける。

- <内容>
- ① むつ支部の各部会（施設長部会～用務員部会）に参加し、他の園の情報や、日常の保育活動などについて交換することにより、保育環境や保育方法などについて見直しを図る機会とする。
 - ② 研修会に参加することにより年齢・月齢に応じた具体的な実践方法などについて全職員で協議したり年齢別で確認できる場とする。
 - ③ 保育所保育指針などについての情報情報を研修会に参加した職員が伝達する場とする。
 - ④ 栄養士、調理員については、支部部会への参加も含め、県支部主催の食育に関する研修会に参加し、日常の仕事に活かすようにする。
 - ⑤ 事務担当者については、経理事務などの研修会に参加し園長の指導管理のもと、事務体制の確立と資金管理及び補助金業務に関する知識を取得するための研修に励むようとする。

3. 研修内容

研修項目	研修内容
園内研修	毎月実施し、厚生省や県関係、市関係の情報を確認したり、日常の保育活動の見直しを図る
園外研修	各種研修会（全国、県、市の開催研修）に参加することにより、業務内容に関する高い知識や経験、技術を身につける（各種開催案内を参考に参加計画を作成）。

平成29年度 職務分担表

大畑中央保育園

NO 1

職名	氏名	職務分担事項	担任
園長	宮木 則男	園業務の総括。人事管理。保育業務、給食業務の管理。職員の指導・助言。行政機関、関係団体、保護者、地域社会との連絡調整。 法人事務の事務処理。予算の編成と調整配分。現金管理。保健衛生・健康管理及び食中毒防止指揮者。評価責任。保健責任。評価責任。	
副園長	宮木みづ子	園長業務の補佐。園の保安点検衛生管理。保健業務(小学校との繋がり:読み書き計算・他)。防災管理。給食業務の管理の補助。職員の指導・助言。行政機関、関係団体、保護者、地域社会との連絡調整。予算の編成と調整配分補助。保健衛生・健康管理及び食中毒防止指揮者。災害時における避難責任者(非常食・非常具・非常用・非常用経路など)。	
主任保育士 (副主任)	菅原 美幸 青山 瞳子	保育指導計画の立案、制作、指導。特別の行事に関する計画の作成、指導。行事に対する手紙作成。職員研修計画の立案、実施。一時預かり担当。初任者指導及び各組の運営・管理の指導・助言。苦情受付担当。体操指導補助。虹組(0歳児)の運営・管理・指導。初任者指導補助。	ひよこ 0歳児
保育士 (副主任)	宮下 弘子	虹組(5歳児)の運営・管理・指導。器楽指導補助。虹組(5歳児)の運営・管理・指導。初任者指導補助。	虹 5歳児
保育士 乳児保育リーダー	工藤 真弓	めばえ組(2歳児)の運営・管理・指導。器楽指導補助。初任者指導補助。	めばえ 2歳児
保育士 専門リーダー	北上あゆ子	光組(4歳児)の運営・管理・指導。器楽指導補助。体操指導補助。	光 4歳児
保育士 専門リーダー	畠中 志帆	各組保育補助。器楽指導補助。体操指導補助。	全児補助
保育士 佐々木勇介	めばえ組(2歳児)の運営・管理・指導。		
保育士 幼児保育リーダー	新田 梨奈	りす組(1歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。初任者指導補助。	めばえ 2歳児
保育士	菊池 羅菜	星組(3歳児)の運営・管理・指導。器楽指導補助。体操指導補助。	星
保育士	宮本 茉彩	りす組(1歳児)の運営・管理・指導。一時預かり担当。	りす 1歳児
准看護師 (保育)	苅谷奈美枝	ひよこ組(0歳児)の運営・管理・指導の補助。園児の健康管理。職員の健康管理。一時預かり担当。	ひよこ 0歳児
療育支援員	石倉美穂子	特別に支援を要する子どもへの対応(光組補助)。特別支援担当。	以上児 補助

平成29年度 職務分担表

大畑中央保育園

N O 2

職名	氏名	職務分担事項	担任
子育て支援員	宮本 博子	子育て支援事業立案責任者。	
子育て支援員	佐藤志津香	子育て支援事業立案。	
子育て支援員	佐々木奈々	子育て支援事業立案。	
事務主事	工藤 直子	会計管理(給与、その他)。法人・施設の事務管理。給食関係帳簿の記帳整理。予算の編成と調整配分補佐。	
栄養士	越後 千穂	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理責任者。給食関係帳簿の記帳整理責任者。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。	
調理士	木村 砂織	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。	
調理士	越善 美紀	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。	
用務員	上代 利一	園の運営管理上の業務。園舎内外の整理・清掃・美化。施設の保安・点検。災害時における避難担当。	
運転手	菊池 徹	送迎バスの運転と管理	
嘱託医師 (内科)	三上 史雄	園児の健康診断年2回、並びに保健助言。	
嘱託医師 (歯科)	上条 守夫	園児の健康診断年2回、並びに保健助言。	

大畠中央保育園

別表第1

防火管理者規定及び任務分担表

防火管理者 園長 宮木則男

※火気使用設備器具

(使用箇所・器具の点検、検査と管理)

調理室

◎ 責任者氏名

◎ 越後千穂・木村砂織
越善美紀

事務室

◎ 宮木則男・宮木みつ子
菅原美幸・工藤直子

保育室

乳児室(0歳児、ひよこ組) : ◎ 青山睦子、苅谷奈美枝
ほふく室(1歳児、りす組) : ◎ 新田梨奈、宮本茉彩
保育室(2歳児、めばえ組) : ◎ 工藤真弓、佐々木勇介
保育室(3歳児、星組) : ◎ 菊池羅菜
保育室(4歳児、光組) : ◎ 北上あゆ子、畠中志帆
保育室(5歳児、虹組) : ◎ 宮下弘子

子育て支援室 : ◎ 宮本博美・佐藤志津香
佐々木奈々

遊戯室

◎ 宮木みつ子・上代利一

休憩室

◎ 宮木みつ子・上代利一

ホームタンク

◎ 越後千穂・木村沙織
越善美紀

※建築物、電気関係、機械設備

建築物(破損箇所の調査)

◎ 宮木則男・上代利一

電気設備(不良配線等の調査)

◎ 宮木則男・上代利一

※消防警報設備

消火器、火災報知器の点検整備

◎ 宮木則男・上代利一

※避難誘導設備

誘導灯、除雪、非常口の点検整備

◎ 宮川玲・上代利一

避難通路の確保

◎ 菅原美幸